

安井 英章

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

子育て基金の創設を

地方自治体の基金の増加について国の会議で指摘されている。親の負担を少なくし安心して育てられる環境を整備するため、財政調整基金の一部を「子育て基金」として創設できないか。

子どもを生み育てやすい環境づくりは第2次能代市総合計画において重要課題と位置づけているほか、総合戦略においても中核をなす施策であることから、基金の有無にかかわらず拡充していくべき施策と考えている。基金の創設は、今後、施策を展開していく中で、その設置が施策展開に有効であると判断した段階で検討していく。

フリーゲージトレインの誘致を

能代市から東京方面へは主に秋田駅で新幹線に乗りかえなければならず、乗客にとって大きな負担である。フリーゲージトレインは車輪幅をかえて線路幅の違う鉄道線路を走行する。誘致できないか。

フリーゲージトレインの技術が確立されていない現段階においては、誘致できる状況にないと考えているが、利便性の向上等には必要なものと認識しており、今後も国の動向等を注視するとともに、現在秋田県全体で進めている奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けた活動についても取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- 県立天文台の誘致を
- 水素社会へ向け、能代市のロードマップを
- 外国人労働者などの人材確保は

原田 悦子

平政・公明党

小・中学校のエアコン設置計画作成を

9月議会では、今後の国の動きを注視する旨の答弁であったが、今回の国の動向・財政支援はどのようなものであったか。また、普通教室、特別教室等、エアコン設置計画を作成する考えは。

今回の臨時特例交付金は、今年度補正予算限りと思われること、普通教室への設置を最優先すること等について連絡があった。その後の市の財政負担を考慮し、また、申請期間が10日と短かったことから、今回の申請は見送った。しかしエアコンは、児童生徒等の健康を守るために必要であり、今後、整備手法等も含めた設置計画を作成したい。

古布類回収を年2回実施すべきでは

市が秋に実施している古布類回収は市民の好評を得ている。リサイクル業者や運搬業者など関連する業界の都合もあると思うが、回収を年1回から2回にふやしてはどうか。

古布類回収は、実施日等の問い合わせが多いことや、多くの市民が搬入に訪れるなど、ニーズが高いものと考えている。こうした中、古布類回収を実施する自治体がふえていることから、回収できる業者の確保が難しくなっている。しかし、廃棄物の減量の観点や、市民のニーズ等を踏まえ、年2回の実施を目指し、回収業者と協議していく。

その他の質問事項

- 当市における外国人材の活用状況
- 重すぎるランドセルへの取り組み
- ネギ団地の石に対する県の対応は

落合 康友

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

能代の縄文遺跡等を広域観光資源に

能代を含む北海道・北東北は、平安時代ころまで縄文時代が続いた日本最後の縄文文化圏であり、国史跡杉沢台遺跡は特に貴重な研究材料である。広域観光資源として能代の縄文遺跡等を活用する考えは。

鹿角市の大湯環状列石や北秋田市の伊勢堂岱遺跡は、遺構を見学する環境が整っている。これに対し、杉沢台遺跡は、発掘調査後、遺跡を保存し後世へ残すために埋め戻していることから、遺構の見学ができず、観光資源としての活用は難しいとされている。

公共施設へ無線LANを設置拡充すべき

市民からの要望を受け、公民館等の文化施設に無線LANを設置すべきと所管委員会にて再三提案してきたが、改善が見られない。現代はネット社会で、無線LAN設置は最低限のインフラ整備では。

市役所新庁舎における今年度の無線LANの月平均利用者は115人となっている。また、市が実施した公共施設利用者アンケート調査、自主学习グループ対象のアンケート調査でも整備要望は低く、市の事業の優先度と費用対効果を勘案すると、すぐに整備することは困難である。今後も需要の把握を続け、必要性が高まったときには整備を検討する。

その他の質問事項

- 持続可能な開発目標SDGs
- 核のごみ最終処分場の説明会
- 来年度予算編成の方針